



ご取材のお願い

「大エジプト博物館」にかかる特別講演について

和歌山大学では、教育研究のグローバル化を推進しており、海外大学と協定の締結などによる交流を進めるとともに、留学生の受入れや日本人学生の海外派遣を積極的に行っています。

大学のグローバル化を進めるにあたっては、多様な国との交流が重要となってくることに鑑み、令和8年2月に、本学で初めてエジプトの大学（エジプト日本科学技術大学）と交流協定を締結しました。

また、本学では独立行政法人国際協力機構（JICA）と国際協力事業や国際貢献等における教育研究の発展を目指し協定を締結して連携を行っています。

このような背景のもと、このたび、JICAの協力により、エジプトにある「大エジプト博物館」（※）の副館長（Dr. Khaled Hassan）など博物館関係者が来学し、本学教員や学生に対してエジプトの歴史や博物館における出土品の保存や修復活動などをテーマとした特別講演を別添のとおり実施することとなりました。

学生がエジプトの歴史や文化に興味を抱き、グローバルに活躍できる人材へ成長する原動力となり、教員にとっては、博物館との交流などを通じた教育研究の発展につながる良い機会となります。

ご取材いただきますようお願いいたします。

※大エジプト博物館（Grand Egyptian Museum）

古代エジプト文明を展示する世界最大級の博物館。エジプトの首都カイロ郊外のピラミッド近くに位置し、約5,000年にわたるエジプトの歴史を体感できる文化施設。ツタンカーメンの黄金のマスクを含む約10万点が所蔵。日本の支援のもと建設が進められるとともに、遺物の保存・修復に関する技術協力も長年実施され、令和7年11月にグランドオープン。現在も日本の技術協力が続く、日本とエジプトの友好の象徴として注目を集める世界的文化拠点。

本件についてのお問い合わせ

国立大学法人和歌山大学

担当：国際交流課 津田

〒640-8510 和歌山市栄谷930

電話：073-457-7524 FAX：073-457-7886

メール：kokusai@ml.wakayama-u.ac.jp